



エリトリアってどんな国？

エリトリア State of Eritrea

首都 アスマラ
 面積 11.76万平方キロメートル
 人口 560万人（2012年）
 宗教 キリスト教、イスラム教他
 言語 ティグリニャ語、アラビア語、英語、
 諸民族語



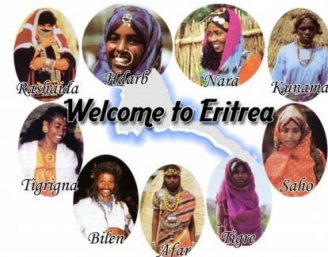
●エリトリアの位置

「アフリカの角」と呼ばれる北東部にあり、紅海（こうかい）に面しています。紅海はアフリカ・ヨーロッパ・中東を結ぶ海であり、地理的にとても重要な場所にエリトリアはあります。1993年に独立した、アフリカ大陸でもっとも若い国の一つでもあります。



●人々と言葉

言語はティグリニャ語、アラビア語、英語も広く使われています。また、9つの民族（アフア、ビレン、ヘデレブ、クナマ、ナラ、ラシャイダ、サホ、ティグレ、ティグリニャ）それぞれの言語があります。



●首都 アスマラ

エリトリアの首都は「アスマラ」という街です。標高2350mに位置するアスマラは年間の平均気温が17℃と、穏やかで過ごしやすい気候です。イタリアとアフリカの文化が溶け合い、宗教的にもカトリック大聖堂、モスク、正教会、シナゴークなどが立ち並び多様な文化に触れることができます。



▲アスマラの夜景



▲多様な文化が共存する街並み

●国の動物、ラクダ

古来からエリトリアの人々とともに生き、大切にされてきたラクダは、国章のモチーフにもなっています。

在日本エリトリア大使館のキャラクター「ベレベレくん」もラクダのロードレーサー！



▲エリトリアの国章



▲ベレベレくん

●食文化

稲科のテフという植物の粉で作る酸味の効いたクレープのような「インジェラ」が、主食として食べられています。

イタリアの植民地時代の名残りから、ピザやパスタといったイタリア料理も楽しむことができます。



▲インジェラを使用した料理



▲イタリア料理もたのしめます



エリトリアのスポーツ

●自転車ロードレース

エリトリアでは自転車競技が国技といわれるほど盛んです。

ロードレースの本場であるヨーロッパで活躍する選手も多く、そのパイオニアであり、アフリカのチャンピオンであるダニエル・テクレハイマノット選手は、国民的な英雄です。

ダニエル選手は2015年7月、ロードレースの世界最大の大会であるツール・ド・フランスにおいて、アフリカの選手として初の山岳賞ジャージ（山岳区間を制した選手に与えられる水玉模様のウェア）を獲得し、世界で大きく報じられました。



▲エリトリア・ナショナルチーム

▼ツール・ド・フランスで山岳賞ジャージを着るダニエル選手



●陸上競技

2015年8月に北京で開催された世界陸上競技大会初日の男子マラソンにおいて、エリトリア代表のギルマイ・ゲブレセラシエ選手が、金メダルを獲得しました。

大きな世界大会でエリトリアとして初、しかも19歳という史上最年少での金メダル獲得は、世界中を驚かせました。また同競技ではアマニエル選手も9位に入賞し、男子10,000mではアブラール選手が6位入賞しました。

陸上競技におけるエリトリア人選手の潜在能力は非常に高く、標高の高い環境、勤勉な性格もあり、今後の活躍がますます期待されています。



▲世界陸上男子マラソンで優勝したギルマイ・ゲブレセラシエ選手



エリトリアと大磯町のつながり

●2015年 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプに係る協定を締結

エリトリア・オリンピック委員会（ENOC）・神奈川県・小田原市・箱根町・大磯町・星槎グループの6者による協定が締結され、エリトリア選手団の東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプを神奈川県箱根町にある「星槎箱根キャンパス」を中心に実施することが決定しました。

東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地決定は神奈川県内では初であり、また民間連携による誘致の成功は全国で初めてのことです。



▲星槎グループの生徒たちが製作した友好のマッチフラッグ



▲調印式での記念撮影の様子

●ヤレド選手が大磯町民となりました

2016年2月にはエリトリア国の陸上競技選手であるヤレド・アスメロン選手が来日し、今後、本町を拠点に活動していくため、町内に住所を移し、大磯町民となりました。

ヤレド選手をはじめ、エリトリア国選手の今後の活躍を期待しています。



▲住民登録カードを受け取るヤレド選手

みんなで覚えよう！エリトリアの言葉！

日本語 ティグリニヤ語

ありがとう ⇔ イェカンニエル

こんにちは ⇔ ケメイ・アロハ